

鳥取市市政改革推進市民委員会 活動報告書

令和8年3月24日

鳥取市市政改革推進市民委員会

《 目 次 》

委員名簿	P1
1. 委員会の目的	P2
2. 委員会の開催経過	P2
3. 二次評価の内容と結果	P3
(1) 鳥取市市政改革プラン実施計画の担当課評価への二次評価 ...	P3
(2) 個別の実施計画に対する評価および改善案の提言 ...	P4
【協働推進課】 111010: 地区公民館の地域運営	
112030: 協働内容の精査	P5
【デジタル戦略課】 122010: オープンデータの推進	
222060: 電子会議等の推進	P6
【資産活用推進課】 314020: ネーミングライツの推進	
314030: 全庁的な広告事業の推進	P7
【行財政改革課】 321010: 補助金適正化の推進	P8
4. 新しい市政改革プランのヒアリング結果	P9
5. 2年間の活動を終えて	P14
資料: 二次評価結果一覧(令和5年度実績分)	巻末添付

第12期鳥取市市政改革推進市民委員会名簿

任期: 令和6年5月31日～令和8年3月31日

氏名	所属	役割	備考
やました ひろき 山下 博樹	学識経験者 (鳥取大学地域学部)	委員長	
かわさき まこと 河崎 誠	市内企業・団体の代表者／報道 (株式会社新日本海新聞社)	副委員長	任期: 令和6年5月31日～ 令和7年7月28日
たにぐち あきひろ 谷口 明洋	市内企業・団体の代表者／金融 (株式会社鳥取銀行)	副委員長	副委員長任期: 令和7年8月26日～ 令和8年3月31日
かわぐち ゆみこ 川口 有美子	学識経験者 (公立鳥取環境大学環境学部)	委員	
こが まみ 古賀 真美	市内企業・団体の代表者／報道 (株式会社新日本海新聞社)	委員	任期: 令和7年8月25日～ 令和8年3月31日
こまつ れいこ 小松 玲子	市内企業・団体の代表者／女性団体 (きりんのまち・愛プロジェクト)	委員	
はじ ゆうた 土師 佑太	市内企業・団体の代表者／労働者団体 (連合鳥取東部地域協議会)	委員	任期: 令和6年5月31日～ 令和7年2月14日
おおはし りょうすけ 大橋 良輔	市内企業・団体の代表者／労働者団体 (連合鳥取東部地域協議会)	委員	任期: 令和7年3月6日～ 令和8年3月31日
もりた ゆか 森田 祐加	市内企業・団体の代表者／産業 (鳥取商工会議所青年部)	委員	
どばし つとむ 土橋 勉	市内企業・団体の代表者／DX (株式会社 LIMNO)	委員	
こしば まさこ 小柴 正子	公募選考委員会決定による市民委員 (自営業)	委員	
おおくぼ あいみ 大久保 英美	公募選考委員会決定による市民委員 (学生)	委員	

※各委員の所属は委員就任時時点のものです

1. 委員会の目的

市民委員会の役割は、鳥取市市政改革推進市民委員会設置要綱で次のように定められています。

- ・市政改革プランの決定、推進及び見直しに際し、意見を述べること。
- ・行財政改革の推進に関する重要事項について、調査審議を行うこと。
- ・市政改革プラン実施計画の結果に対して、評価を行うこと。

2. 委員会の開催経過

市民委員会では、任期中(令和6年5月31日～令和8年3月31日)に次のとおり会議を開催し、鳥取市市政改革プラン及び実施計画の二次評価を実施しました。

	開催日	主な内容
第1回	令和6年 5月31日	市民委員会及び鳥取市市政改革プラン(第7次行財政改革大綱)の説明
第2回	8月27日	市政改革プランの進捗報告 市政改革プラン二次評価の説明
第3回	8月28日	二次評価の実施(書面開催)
第4回	10月24日	ヒアリング対象事業の選定
第5回	11月29日	二次評価結果の共有 担当課ヒアリングの実施
第6回	令和7年 2月7日	担当課ヒアリングの実施
第7回	5月22日	市政改革プラン(第8次行財政改革大綱)策定の報告
第8回	8月26日	市政改革プラン(第7次行財政改革大綱)成果報告
第9回	10月24日	担当課ヒアリングの実施
第10回	11月13日	担当課ヒアリングの実施
第11回	令和8年 2月3日	市民委員会意見の集約 二次評価結果報告書の協議

3. 二次評価の内容と結果

(1) 鳥取市市政改革プラン実施計画の担当課評価への二次評価

① 評価の内容

評価対象	令和5年度実績(73実施計画)
評価期間	令和6年8月28日～令和6年10月21日
評価方法	各実施計画の評価シート(担当課自己評価済み)を確認し、令和5年度末時点の担当課評価の妥当性について二次評価を実施した。

② 評価の結果

担当課が実施した令和5年度の各実施計画における自己評価(一次評価)への二次評価を行いました。全体的に各計画の評価が適正になされており、計画は概ねが「妥当である」という結果となりましたが、一部の計画では目標が未達成であったり、工程が遅れていても「概ね計画通り」と自己評価しており、市民目線とのギャップを感じました。また、取組内容が不明瞭で二次評価しづらい計画もあり、市民への説明責任を果たす観点からも、新しい市政改革プランでは分かりやすい表現に努めていただきたいです。

下表では、市政改革プランの実実施計画全体に共通する事項として、委員から挙げられた意見を取りまとめました。

意見	内容
評価シートについて	・評価シートのフォーマットにおいて、「進捗度評価」の過去の実績も参考情報として記載されている欄があると、経年変化を追うことができる。そうすることで、進捗の遅れが続いている計画などに対し、見直しを考えるべく、当委員会から提言などできるかもしれない。
自己評価について	・個別成果指標に掲げた目標を達成できなかった場合の責任や、反省はどのようにされるのか。努力を評価するのではなく、成果をしっかり評価しなければいけない。
二次評価について	・当委員会で評価した結果を担当課が受け、意義ある次の取組へとつながるようにするためには、通常業務的な計画の評価は不要であるように思える(内部の極めて事務的な取組や税金収納関係など)。
指標の設定について	・市民目線での評価するにあたり、参考となる指標が少なすぎるように感じる。取組内容は市政をより良くするため一生懸命に活動されている事と評価できるが、目に見える形や成果で判断するのが大半の市民である。今後はメディアや SNS などの発信を多投し、より多くの市民の関心を掴んでいく必要があると感じている。 ・定性的な効果は分かるが、数字、KPIなどによる定量的な効果シミュレーションの提示が欲しい。

※個別の評価及び意見については巻末資料「二次評価結果一覧(令和5年度実績分)」を参照。

(2) 個別の実施計画に対する評価

① 評価の内容

評価対象	市民委員が選定した実施計画 【協働推進課】 111010:地区公民館の地域運営 112030:協働内容の精査 【デジタル戦略課】 122010:オープンデータの推進 222060:電子会議等の推進 【資産活用推進課】 314020:ネーミングライツの推進 314030:全庁的な広告事業の推進 【行財政改革課】 321010:補助金適正化の推進
評価期間	ヒアリング実施日 : 令和6年11月29日、令和7年2月7日
評価方法	・委員から担当課との意見交換の希望のあった実施計画をヒアリング候補とし、そこから計画を選定し評価対象とした。 ・各実施計画の評価シートを踏まえた意見交換の中で、市民目線あるいは専門的見地からの改善点や新たな手法について提案・提言を行った。

② 評価の結果

市民委員が選定した実施計画について、各担当課との意見交換等も行いながら評価し、今後の取組の進め方等に関する提言・提案を次ページ以降に取りまとめました。

実施計画別 二次評価結果

ヒアリング実施日：令和6年11月29日

実施計画	111010：地区公民館の地域運営 112030：協働内容の精査
担当課	協働推進課
現 状	
<p>【地区公民館の地域運営】</p> <p>指定管理者制度を活用して、地域運営組織がより裁量を持った地区公民館運営を行うことで、地域活動の充実を図る取組である。令和3年度に佐治地区で指定管理者制度を導入したが、他の地域では希望がなく、指定管理者制度導による公民館の地域運営は広がっていない。このため地域づくりや人づくり活動をサポートする「地域アドバイザー派遣事業」や、関連する補助金等を一本化して柔軟な活用が可能となった「一括交付金制度」の導入から、まちづくり協議会による地域運営を進めるための働きかけを行っている。</p> <p>【協働内容の精査】</p> <p>地域運営組織の中には担い手不足などにより、組織や活動の維持存続に不安を抱えている状況があるため、地域と鳥取市との役割分担の検討を進め、それぞれの持ち味を活かしながら協働していく取組である。実績として、令和3年度に鳥取市自治連合会との意見交換を行い、鳥取市から地域運営組織への依頼事項の整理を進めた。令和4年度に41件あった依頼件数は、令和5年度には28件、令和6年度には22件と、最低限まで削減を図ることができた。</p>	
総 評	
<p>公共施設の民間委託である指定管理は、業務の範囲が線引きされてサービスの幅が狭まるイメージがあったが、佐治地区の地域運営組織は地域交通や福祉など住民の生活を支える仕事も担っておられ、サービスを充実させるために、指定管理者制度を活用されている。</p> <p>市町村合併前は佐治村だった佐治地区は、村として頑張ってきたイメージがある。一方、旧鳥取市域の公民館は現在も小学校単位で運営されており、NPO法人の立ち上げや指定管理は馴染み難いと感じた。</p> <p>多くの地域運営組織で温度差があり、指定管理が進まない現状であるが、地域アドバイザーの派遣をされているので、各地区の意見を聞きながら運営していくのがよいと考える。</p> <p>地区公民館の地域運営は、各地区の実情や考え方に加えて、受け皿となる団体の有無や成熟度が鍵となってくるため、簡単に行えるものでなく、地域のリーダーなど、地域を牽引する人材の育成が必要になると考えている。</p>	
個別意見等	
<ul style="list-style-type: none"> 子どもが参加するイベントは大人も積極的に取り組みやすい。そこから普段の地域運営組織の活動にもつなげることができれば、参加する人も増えていくのでは。 地区公民館は地域と密接な場所で、防災分野で担う役割も大きい。地区公民館を運営する組織も地域をみることができる団体であるべきで、指定管理者の基準もそうあってほしい。 佐治地区以外の地域へ広げるためには、口頭で紹介するだけでなく、事例や課題、解決の進め方等を資料で共有してはどうか。イメージしやすく、持ち帰り後も伝えやすいと考える。 	

実施計画別 二次評価結果

ヒアリング実施日：令和7年2月7日

実施計画	314020：ネーミングライツの推進 314030：全庁的な広告事業の推進
担当課	資産活用推進課
現 状	
<p>【ネーミングライツの推進】</p> <p>ネーミングライツを導入している施設は2施設(市営サッカー場バードスタジアム「Axis バードスタジアム」、市民体育館「鳥取市民体育館エネトピアアリーナ」)である。新たに6施設(文化ホール、市民会館、若葉台スポーツセンター、国府町コミュニティセンター、市営美保球場、本庁舎の跡地広場)を検討したが、改修工事等の可能性や利用者数が少ないこと、別に愛称募集を行ったことなどを理由に導入には至らなかった。</p> <p>【全庁的な広告事業の推進 について】</p> <p>これまでに封筒や公用車への広告掲載、本庁舎や駅南庁舎で動画広告を流すデジタルサイネージの設置、広告付き案内看板設置等、広告媒体となるものを活用している。令和3年度より職員パソコンのログイン画面への広告掲載を開始し、令和5年度より「はたちの集い」(以前の成人式)の案内はがきへの広告掲載を実施した。さらに広告事業として新たに展開できる媒体の情報提供を事業者へ呼びかけ、14件の提案を得た。広告付きAEDの設置、コミュニティバスへの広告、バス停へデジタルサイネージを設置、多言語観光ナビ(案内看板)の設置、窓口の亚克力ボードへの広告掲載等、提案された中から、ゴミ袋への広告掲載、広告入り庁内封筒の受け入れについて検討している。</p>	
総 評	
<p>バードスタジアムのように知名度の高い施設でなければ広告料を高く設定しにくい、市内向けの催しが多い市民会館などでも鳥取エリアで事業をする事業者は上げる可能性もある。施設の持つ魅力や事業内容からネーミングライツの導入を考えたい。</p> <p>一方、バードスタジアムで導入した平成19年頃は、全国的にも施設のネーミングライツが流行っていたが、現在はネット環境への展開が主流となっている。施設は老朽化への対応や看板表示などに経費が掛かるが、ネット環境での展開する場合はパソコン上で操作が完了し、万一の時も速やかに対応できる。また、ネットから情報を見る人は多く、広告する効果も高い。施設が数に限りがあり、老朽化などで募集できないなら、鳥取市のネット環境に広告を打てるような媒体に目を向けてはどうか。例えば、鳥取市の公式LINEに広告を出すことなどを検討する価値はあると考える。</p>	
個別意見等	
<ul style="list-style-type: none"> バードスタジアムにおけるネーミングライツの広告料は年間500万円と大きな収入となっているので、積極的に進められたい。 ネーミングライツ導入を新たに検討した施設が老朽化などで募集に至らなかった事について、老朽化は計画段階から分かっている事ではないのか。 	

実施計画別 二次評価結果

ヒアリング実施日：令和7年2月7日

実施計画	122010：オープンデータの推進 222060：電子会議等の推進
担当課	デジタル戦略課
現 状	
<p>【オープンデータの推進】</p> <p>行政の各種施策を進めるにあたり民間組織と協働していく必要があるが、民間組織は行政の持つデータに基づいて力を発揮することが基本となる。このためまずは行政のデータを提供し、これを活かした官民協働による地域課題の解決、行政の透明化・効率化の促進など、新たなサービスの提供や利便性の向上を図る。また、民間組織でも新しいサービスやビジネスが生まれることが期待できる。なお、保有データは国が推奨する自治体標準オープンデータセットにより公開することが必要である。</p> <p>【電子会議等の推進】</p> <p>ICTツールを活用した会議等により会場移動や紙資料の配布が不要となり、経費削減を進めることができた。この取組は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、対面機会を減らす取組と一体的に進められ、会議開催件数は令和3年度にピークを迎えた後、コロナ収束に伴い減少傾向であるが、現在も精力的に活用されており、会議形式として根付いている。</p>	
総 評	
<p>鳥取市の保有データを、国が推奨する自治体標準オープンデータセットにより公開するためにはデータ編集を要するが、誰がデータを活用し何をするか、どんな効果があるかを見込めないため、データの公開が進み難い状況である。しかし、民間事業者が本市のオープンデータを活用してバス時刻アプリを作った事例があり、現在も鳥取市と鳥取県で関西万博の来訪者にイベント情報を提供する仕組みを作成しているので、活用されることを信じて進めていただきたい。特に関西万博のためのイベント一覧は前年度中に公開しなければ、時流に乗っていかうとする姿勢がないと言わざるを得ない。</p> <p>また、国の推奨する22のオープンデータで完了とするのではなく、あらゆるデータに広げていただきたい。現在のデータリストには市民生活に関連したデータは多いが、ビジネスに繋がるデータは少ないと感じる。一方、情報はスピード感を持って出すことや、多言語にも対応する事も必要である。担当課だけで進まないなら上層部からの指示や二次委託も活用して進めていただきたい。</p>	
個別意見等	
<ul style="list-style-type: none"> ・公開しているデータはネット上から探しやすい、辿りやすい場所に置いてほしい。 ・鳥取市にも外国の方が多く住んでおり、関西万博における外国の来訪者の誘致を見据えれば多言語へ対応は必要である。 ・今後も電子会議利用を促進されることと思うが、職員の会議参加のためのスペース確保にも留意していただきたい。 	

実施計画別 二次評価結果

ヒアリング実施日：令和7年2月7日

実施計画	321010：補助金適正化の推進
担当課	行財政改革課
現 状	
<p>鳥取市の補助金適正化の取り組みは平成18年度から始まり、現在は第三次補助金等適正化方針を令和5年度に策定して取り組んでいる。</p> <p>補助金は地域や市民が主体となり行う公益性のある活動や行政の補完的なサービス、事業などの経費について支援することを目的に交付している。この補助金が本市の実情に応じた効果的な事業になっているか、また全ての市民に対して公正に執行していると説明責任を果たせる内容になっているのかに着目して、第三次補助金適正化方針ではルールとなる4つの原則(合規性、経済性、公益性、公平性)を定めている。そして、実際に補助金として交付しているものがこれに則っているかを具体的にチェックしている。現在350を超える補助メニューがあり、全体の合計金額は約50億円弱となっている。これまでは各課にチェックを委ねていたが、第三次補助金等適正化方針からは行財政改革課でチェックして、その結果を補助金カルテにまとめて公開する予定である。</p>	
総 評	
<p>膨大な数の補助金のメニューがあるが、1つ1つが要綱により目的や補助対象経費、補助率等を定めて運用されている。補助金カルテはその補助金が、いつできて、何のためにやっており、終期はいつか、何の経費に使われ、それは妥当なのか等の事項を再整理するため、各補助金の担当課が作成する。</p> <p>補助金の中で団体の運営に対するものは、繰越金があった場合は返金を徹底する事等、適切な運用をしなければならないが、特に終期の設定はとても重要になると考える。毎年度、交付することが通例になっている補助金もあり、終期設定のある事業は限られている現状である。今回の補助金適正化方針では、基本的に3年に1回見直す仕組みとなっており、見直すタイミングを必ず作ることで終期の設定に取り組んでいる。鳥取市が市政改革プランに基づき、少しでも収入を増やす取組をする一方、補助金の交付はいつまでも続く状態は矛盾しており、終期を定めてその時期に厳しくチェックすることが、不適切な支出を減らす取組みになると考える。</p>	
個別意見等	
<ul style="list-style-type: none"> 補助金のメニューは膨大であるが、その申請書類も市民にとって難解である。補助金の種類によって申請書から確認する事柄が異なるため、補助金ごとに異なる様式となるのではあるが、共通の様式であれば各補助金の申請書類を効率的に作成でき、市民には有難い。 350もある補助金メニューは、庁内の部局によって数や金額に偏りがあり、たくさんの補助金を担当する部局が補助金カルテを作成するだけでも大変な労力だろうと思う。 	

4. 新しい市政改革プランのヒアリング結果

第12期鳥取市市政改革推進市民委員会の任期は、市政改革プランの更新時期と重なっていたため、任期前半の令和6年度は市政改革プラン(第7次鳥取市行財政改革大綱・R2-6 年度)実施計画の二次評価を行いました。後半の令和7年度は市政改革プラン(第8次鳥取市行財政改革大綱・R7-11 年度)への理解を深めるため、実施計画のヒアリングを行いました。ここでは、令和7年度の実施計画ヒアリングにおいて出された意見、感想などをまとめています。

① ヒアリングの内容

対象計画	【職員課】	11110: 職員の施策立案・事務能力の向上 11210: 人材確保に向けた情報発信強化と採用試験の見直し
	【協働推進課】	12110: 市民ニーズに応える地区公民館の推進 22110: 地域運営組織との連携
	【政策企画課】	22310: 自治体間の広域連携の推進
	【教育総務課】	31210: 民間資源の活用(学校プールのあり方)
	【生活環境課】	42120: 不要品の販売(大型ごみ、不要備品)
	【資産活用推進課】	52170: 広告事業のさらなる拡大
	【市立病院】	53130: 病院事業の経営健全化(収益的収支の黒字化)
	【水道局】	53140: 水道施設の耐震化の推進と経営の効率化
実施日	令和7年10月24日、令和7年11月13日	

② ヒアリングの結果

○個別の実施計画について

実施計画	11110: 職員の施策立案・事務能力の向上 11210: 人材確保に向けた情報発信強化と採用試験の見直し
担当課	職員課
取組内容	<p>【職員の施策立案・事務能力の向上】</p> <p>本市独自の特徴的な政策を立案できる人材の育成のため、職員研修等による政策形成能力の向上を図る。また、新規採用職員研修において、基礎的な財務事務能力の習得に向けた研修を行い、効率的な事務執行体制の構築を図る。</p> <p>【人材確保に向けた情報発信強化と採用試験の見直し】</p> <p>若者向けの PR 動画の作成や効果的な情報発信の方法の検討を行う。また、優秀な人材を確保する観点から、受験者数の増加に向けた採用試験の見直しを行う。</p>
意見、感想	<p>・採用試験について、民間の入社試験ではプレゼンによる試験が主流になり、学歴よりも個性を重視している。必要な知識は入社してから習得してもらえばよく、それより人材として適用能力やセンスを見ているので、公務員試験でも人をよく見てから採用していただきたい。</p>

- ・鳥取から県外に出た学生は、場所によって生活上の利便性など大きな差があることを感じている。なおかつ仕事となれば待遇面や生活を考えるので、鳥取市役所に勤めることで何が実現できるのかを訴えていかないと鳥取に戻らないと考える。
- ・改善されている点は他の自治体や企業でもやり易いものと思う。その中で差別化を図ってアピールに力を入れていただきたい。
- ・近年の職員採用試験の実績では受験者は増えない一方、二次試験辞退者が増えている。他の市町村に流れていることもあるのではないかと。鳥取市で働くの良いところが発信されなければ来てもらえないが、何を発信するかが大事だと思う。
- ・今いる人材を辞めさせないことも大事だと思う。職員に対するカスタマーハラスメントなど色々な問題もあると思うが、組織として職員を守る姿勢を示し、入庁した若者がやめてしまわないよう、いろいろ検討していただきたい。

実施計画	12110：市民ニーズに応える地区公民館の推進 22110：地域運営組織との連携
担当課	協働推進課（12110 は地域福祉課との共同計画）
取組内容	<p>【市民ニーズに応える地区公民館の推進】 地区公民館を拠点とした地域防災あるいは地域共生社会を推進する「モデル地区」を選定し、重点的に支援する。モデル地区の事例は全地区で共有を図り、市内全域への波及を目指すと同時に、地区公民館の組織体制のあり方も検討していく。</p> <p>【地域運営組織との連携】 町内会等の加入促進、活動の活性化を図るため、自治会加入促進条例について調査・検討を進めていく。また、全庁体制で町内会等加入や町内会役員の負担軽減などにつながる施策に取り組む。</p>
意見、感想	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉や防災の拠点としての公民館のモデル地区を定めて取り組まれるが、本プランの 5 年間の取組みが終わってから検証して広めていくと時間が掛かってしまう。できることから広げていく工夫が必要と感じた。 ・公民館の民間利用が促進される一方、公民館は生涯学習の拠点でもある。福祉機能の充実も大事なのでバランスをとり、両立させていただきたい。 ・町内会組織の加入促進はこれまでのイメージを刷新するような大胆なことをしないと若い人は加入しにくいと思う。例えば、役割が果たせるならこれまでと同じ方法でなくてよい。と、いった柔軟な発想を持ってほしい。

実施計画	22310：自治体間の広域連携の推進
担当課	政策企画課
取組内容	鳥取県東部広域行政管理組合や因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏、鳥取・岡山県境連携推進協議会などの様々な枠組みを通じ、自治体間で行政運営や施策に連携して取り組むことで、効率的・効果的に実施する。
意見、感想	
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な規模の広域連携を進めるメリットとして相互補完や効率化があると思う。各連携の規模で鳥取市に求められる役割もあると思うが、特に鳥取・岡山県境連携推進協議会での役割は何かを明確にされながら鳥取市の課題解決にフィードバックできることを期待している。 	

実施計画	31210：民間資源の活用（学校プールのあり方）
担当課	教育総務課
取組内容	学識経験者、学校長、PTA組織の代表、FM担当などのメンバーからなる「鳥取市立学校プール施設のあり方に関する検討委員会」を立ち上げ、ハード面（施設面）のみならずソフト面（維持管理・運営面）から課題等を整理し、最適な方向性の検討を行う。
意見、感想	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校プールの老朽化や維持管理が教育現場の負担になる中、水泳の授業に民間や公共のプールを利用するにも移動などいろいろ工夫が必要と感じた。 ・規模の大きな学校はより移動の負担もかかり、自校のプールを更新して使うという方向であるが、それでは現場の負担は軽減されない問題が残る。 ・深さなど安全面の問題に配慮したうえで、中学校区など地区単位で他校のプールを借りに行く方法も考えられる。学校プールを集約したり拠点化するなど、その地域に合った方法になればよいと思う。 	

実施計画	42120：不要品の販売（大型ごみ、不要備品）
担当課	生活環境課
取組内容	不要品リユース事業を行っている民間事業者と連携して、家庭で不要となった家具等の粗大ごみを、民間事業者を通じて無償譲渡・販売することで、リユース意識の向上を図り、ごみの減量化や循環型社会の実現を促進する。
意見、感想	
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市では行政サービスとしての大型ごみの引き取りをしており、オンライン受付など利便性向上もあって大型ごみの量が増えているが、そういったごみの最終処分場も限りがあり、民間事業者の引き取りサービスが活用されてごみがリサイクルやリユースに回されるよう選択肢を増やすことが、最終処分場の延命化につながるということであった。鳥取市に持ち込まれたごみもそのような引き取りサービスでリサイクルやリユースに回すことができるとよいと思う。 ・鳥取市も空き家が増えており、そこからのごみの増加も予想される。負担が増えていくが、いろんな方法で対応していただきたい。 	

実施計画	52170：広告事業のさらなる拡大
担当課	資産活用推進課
取組内容	各課が広告事業の重要性を認識し広告事業に取り組めるよう、伴走型で支援を行い、広告事業の効果的な実施方法等の検討を進めます。施設(建物)以外へのネーミングライツ導入や提案型ネーミングライツ導入の検討を進めます。
意見、感想	
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市の公共施設からネーミングライツできるものを洗い出し、寄付型の私募債として銀行から企業にマッチングできないか考える。よくある私募債では利用した企業が学校へ学用品を寄付したり、福祉施設へ車いすを寄付したりするが、単発の支援で終わってしまう。継続性があるものとしてネーミングライツの権利を検討いただきたい。 ・公園は地元管理であるためネーミングライツに適さないかもしれないが、それによる収入の一部を公園整備に使うなど、管理する地元のメリットになる仕組みがあればと思う。 ・市報への広告掲載は採算が取れずやめた経緯があるが、市報への広告掲載はしたい企業は多く一般企業にとっても魅力があると思うので考えていただきたい。 	

実施計画	53130：病院事業の経営健全化（収益的収支の黒字化）
担当課	市立病院
取組内容	鳥取市立病院経営強化プラン(計画期間:令和5～9年度)に沿って、開業医からの紹介による新規患者獲得や適切な医療サービス提供による診療単価の向上、他院より優位性のある診療科の広報等により収支改善に取り組む。
意見、感想	
<ul style="list-style-type: none"> ・整形外科で手術支援ロボットが導入されたり、スポーツ整形の専門医がおられるなど特色があれば県外からの利用も望めるかもしれない。しっかりPRしていただきたい。 ・鳥取県東部は総合病院が充実しているが、人口は減っている現状で全ての診療科を維持していくことは医師の確保の面からも難しくなっていると思う。診療科の部分でも住み分けをするなど、お互いのメリットを活かしていただきたい。 	

実施計画	53140:水道施設の耐震化の推進と経営の効率化
担当課	水道局
取組内容	将来にわたって安全な水道、強靱な水道及び水道サービスの持続を目指し、令和17年度までの具体的な施策を示した「鳥取市水道事業長期経営構想(2025-2035)」(※)を策定し、令和7年度から11年度までは、経営構想の前期スケジュールに基づいた健全な水道事業経営の取組を推進する。
意見、感想	
<ul style="list-style-type: none"> ・経営の安定だけでなく、技術者不足など10年後の経営がどうなるかという問題もある。水道料金を変えるなら市民生活に密接に関わるため丁寧な説明が必要であるし、水道の維持に大変な労力が必要であることも伝わるとよいと思う。 	

- ・鳥取市の水道水は普通に飲める。宅配の水を購入する世帯も増え、他の自治体では水道水をペットボトルで売っている現在、鳥取市もそういう点をアピールしながら水道料金も検討していただきたい。

○市政改革プラン全体について

- ・公共施設マネジメントの推進について、施設の統廃合や廃止となると地元の方からいろんな意見があると思うが、行政を健全化するために必要であることをしっかり説明され、理解を得たうえで進めていただきたい。また、市内にこだわらず智頭町や若桜町など東部地域で1つあればよい施設であるなら、共同で設置するなどいろいろな方法を考えていただきたい。
- ・達成目標を件数で設定されている柱があるが、全体からの割合が分からないため件数と割合は使い分けた方がよいと考える。
- ・実施計画に数値指標や効果額のない計画があるが、民間感覚では違和感を覚える。期間途中であっても数値指標や効果額を設定するなどのブラッシュアップした方がよい。
- ・今後、鳥取市の行政運営が成り立たなくならないよう、早急に進めていただきたい。

5. 2年間の活動を終えて

令和6年5月に設置された第12期鳥取市市政改革推進市民委員会は、慣例に倣って前期委員の多くが交代し、新たな顔ぶれでスタートした。今期の本委員会の役割は、令和2年度にスタートした『鳥取市市政改革プラン～第7次鳥取市行財政改革大綱～』が、令和6年度に最終年度を迎えていたため、任期1年目は令和5年度に取り組みられた全73実施計画の二次評価と、それに関連したヒアリングの実施、次期の「第8次鳥取市行財政改革大綱」の策定に際しての意見具申など、多くのことに取り組んだ。「第7次鳥取市行財政改革大綱」の実施期間が始まった令和2年度は、前年12月から深刻化した新型コロナウイルスの流行が社会に多大な影響を及ぼし始めた時期と重なり、令和5年5月に感染症法の「5類」に移行するまでの約3年間は各実施計画への影響も少なくなかった。そうした状況の中、実施計画の遂行に尽力され、5年間の実施期間で最大限の効果をあげる努力をされた市職員の皆様方に敬意を表したい。

任期2年目は、前年度が5年計画の最終年度であったことから二次評価は行われず、この年度にスタートした「第8次鳥取市行財政改革大綱」の実施計画に関連するヒアリングに重点を置いた活動となった。第8次大綱は前期の73計画のうち28の計画が引き継がれ、新たに取り組みれる計画と合わせて計48の実施計画が盛り込まれている。この間の物価高や人件費の上昇などの全国的な動向や本市特有の課題などを踏まえ、より効率的な市政への改革に取り組む計画になっている。ヒアリングでは、とりわけ平成の大合併で広範な市域をもつ鳥取市は、いろいろな面で他都市よりコスト高になりやすい状況など、新たな知見も得られ有意義であった。実施計画も、これまでは類似の計画内容が個別に複数の担当課で行われるなど、全庁的な整合性が十分ではなかった点が、本委員会からの意見などを踏まえて改善されており、委員会として微力ながら貢献できたと自負している。また今期を振り返る中で、市民からのボトムアップの意見を参考に実施計画が検討される仕組みがあっても良いのではないかと、という委員からの意見があり今後の参考にされたい。

この2年間の活動期間中に計11回の委員会が開催されたが、10名の全委員が揃うことが少なかったのは残念であった。出席した委員からは毎回活発な意見が出され、立場の違う市民が委員として参加する本委員会の意義は大きいことから、コロナ禍を経験してさまざまな集い方を学んだ私たちが、より出席しやすい委員会の開催方法などを実験的に模索することも、今後多方面で参考になるのではないだろうか。次期本委員会も鳥取市政に大いに貢献できるよう、事務局との二人三脚で邁進されることを期待したい。

鳥取市市政改革プラン実施計画 二次評価結果一覧（令和5年度実績分）

【担当課自己評価】 A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

柱1 多様化する市民ニーズへ対応するための協働・連携体制の強化

施策 市民と共に目指す満足度の高い行政サービスの実現

細施策 市民ニーズに沿った行政サービスを提供できる仕組みの構築

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
1 協働・推進課 ポータル生涯学	111010 地区公民館の地域運営（希望する地区での指定管理制度の活用など） （担当課自己評価：B）	1 妥当である 8	1●積極的に取り組んでおられ、妥当と判断。 2●その地域に本当に貢献したいと、信頼できる組織・団体が運営してもらえるのが心配（特に防災など）。地域への情報発信においては影響力のある団体だったら、メリットがあると思う。 2●新たに導入した地区がなく、問い合わせ数等具体的な数字がないため。	●他地区で広がらないのはなぜか。1地区で良いという考えか ●少なからず課題はあると思います。あらゆる視点で今後活かして頂きたい。 ●現状、地域における公民館の役割、期待（頼りにされる）は大きいがゆえに、雑多な要望に対し、アナログ的に対応されていると思うが、指定管理者への移行により、住民フォローをデジタルに判断（契約範囲内外）、対応され、逆に住民サービスが低下しないことが前提での「1」
		2 分からない 2		
		3 妥当でない 0		
2 協働推進課	111020 ボランティアマッチングの推進 （担当課自己評価：C）	1 妥当である 9	2●どの程度の効果があるのかわかりづらい。	●団体企業へ向けたマッチングに至らなかった理由は ●ボランティア活動の範囲が多い中、偏りが無いのか。 ●ボランティアの実績人数減少の具体的な理由が知りたいです。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 0		
3 道路課	111030 道路破損・災害時における外部通報システムの構築 （担当課自己評価：A）	1 妥当である 7	1●対応の迅速化が図られ、妥当と判断。 2●目標は投稿数か投稿率が利用自治会数か？目指す最終形は？ 2●市民協働による道路管理のあり方は継続して行うことは必要だが、これまでのシステムの周知と活用検証は必要。 3●計画では利用率向上とあり、自己評価では件数があげられているが、いずれも目標値が示されておらず判断できない。	●市民から直接の通報を増やすことを目指すシステムなのに、議員や地区会長会での説明会で十分なのか。 ●システムの適宜改善も行いながら、より良いものにして頂きたい。 ●投稿対象者を絞ることは良いが、声の大きい/多い投稿者とそれ以外の投稿者（地区）で整備状況に差異が出ない様、別途、定期的な行政による現場確認は必要。
		2 分からない 2		
		3 妥当でない 1		
4 交通政策課	111040 地域住民との連携による公共交通の維持・確保 （担当課自己評価：B）	1 妥当である 10	1●工程表にある「新たな交通システムの構築」「バス路線の再編」にはいつたどり着くのか。 1●効率的に運用できおり、妥当と判断。	●小さな地区ごとの個別対応では全市的にはいつ完了するのか、スピード感を求める。 ●効果額1000万円は見込めそうか？ ●「気高町と鹿野町でAI活用配車システムによる定額制乗合タクシーの実証実験を実施（令和4・5年度）」の概要と成果が知りたい。 ●将来的には、さらなる人員の確保が課題と思料する。 ●オンデマンドシステム、鳥取版ライドシェアの普及と活用の検証を行っていただきたい。シニアカー購入への助成と運転講習を推進していただきたい。 ●例えば、遠隔地から市内中心部への移動に1台の車を使用するより、遠隔地⇄★ハブ拠点（乗り合い）⇄市内中心部といった運用も、回転率向上、環境配慮（CO2削減）の点で有効ではないか。 ●効果額の計画と実績の差の理由がわからなかった。
		2 分からない 0		
		3 妥当でない 0		

鳥取市市政改革プラン実施計画 二次評価結果一覧（令和5年度実績分）

【担当課自己評価】 A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

細施策 地域を支えるための行政の支援推進

	管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）	
5	112010	若者の参画促進 （担当課自己評価：B）	1 妥当である	8	2●基本的に参加している若者の数が少ない。 2●地域活性化を図るとあるが、どういう結果が目指している地域活性化なのか。活用した地区数も目標に達してない。	●担当課自己評価にもあるように、各地区独自での若者確保を推進し、市が中心にならなくてよい仕組みを早く構築すべき。 ●若者＝大学生だけではないので、中高生も参加できるようなしくみがあってもよいのではないか。大学生は多くの場合県外出身者であり、中高生はそうではないので、地元への愛着や貢献意欲を持てるきっかけにもなるのではないか。 ●PRも含めて、もっと改善と戦略が必要。 ●地域おこし協力隊の活動と継続した事業への支援が必要。中高生の積極的な事業参画への呼びかけは保護者理解を進めながら行った方が良いと思う。特に防災について、先進地域では中学生の防災士資格取得のための支援を行っている自治体があり、若年者が地域防災と地域力向上を担っている。
			2 分からない	2		
			3 妥当でない	0		
6	112020	職員等の派遣の推進 （担当課自己評価：C）	1 妥当である	9	1●積極的に活動出来ている。 2●行政サイドの事業目的と地域との関わりについて検証すべき	●制度の周知が必要なのか、そもそもニーズが少ないのか、見極めと判断が必要ではないか。 ●市職員のスキル向上の取り組みのイメージ（一例）は？ ●幅広い地域での活動に期待。 ●複雑化している地域課題を解決するためには行政側の横断的な対応が欠かせない。 ●R5年度の派遣が7回とあるが、そもそも該当地区数が不明のため派遣数が多いのか少ないのかわからなかった。
			2 分からない	1		
			3 妥当でない	0		
7	112030	協働内容の精査 （担当課自己評価：B）	1 妥当である	7	2●目的や必要性、課題感は伝わるが、具体性が見えない。 3●課題が多すぎて、成果が見えない。 3●効果額まだ予定より進んでいないので	●あまり活発な活動がされていないようなので、見直しが必要だと思う。 ●もっとコミュニケーションを強化することが必要と感じる。 ●地域活動を行う上で個人情報保護の観点から住民の情報共有が出来ないことが地域力低下につながっているのではないかと。情報保護の責任を持つ団体等については適宜必要な情報を提供することが必要。 ●組織が一体化した2地区とは？
			2 分からない	1		
			3 妥当でない	2		

鳥取市市政改革プラン実施計画 二次評価結果一覧（令和5年度実績分）

【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

施策 民間活力の導入による質の高い行政サービスの提供

細施策 適切な業務分担による外部委託の推進

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
8 幼児 保育課	121010 保育園の民営化 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 8	1●賛同できる取り組みであるため。 3●効果額まだ予定より進んでいないので 3●「今後の情勢次第」という言葉が曖昧で、見通しがはっきり立っているわけではないのかなという印象を受けました。	●民間の力は当然必要と感じている。施設数の増加も検討の必要性があり、官民連携は必須。 ●全国的に園運営での事故が続いていることから、責任ある事業運営に向けたルールづくりが必要と考える。 ●効率化優先によるサービスやコンプライアンス低下に繋がらないための行政による監視・ルールの再点検必要。「公立」と「私立」のバランス考慮、の意味合いを教えてください。 ●今後少子化が進み、民営では破綻する保育園も出てくる可能性もあり、公営保育園が増えることも考えられる。あまり減らすと公営側のノウハウ低下が懸念される。
		2 分からない 0		
		3 妥当でない 2		
9 保健 総務課	121020 保健所業務に係る手数料収納業務の外部委託 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 10	1●効率化も進められており、妥当と判断。	●官民連携強化の継続に期待。 ●コロナ関連業務等の外部委託の検討とあるが、それはこの施策に入れていいのか不明。
		2 分からない 0		
		3 妥当でない 0		
10 行財政 改革課	121030 外部委託等推進方針の見直し (担当課自己評価：C)	1 妥当である 8	3●工程表にある初年度の内容を4年目に行っており、「遅れ」のレベルを超え、未着手ともいえる。 1●官民連携強化を進めており、妥当と判断。	●遅れに対応した工程表の修正をすべき。 ●R5年で取り組み実績がない。遅れているより下のレベルではないか。 ●具体的に外部委託を予定している業務にはどういったものがあるのか。 ●今後にも期待。 ●概ね妥当ではあるが、民間活力を導入するにあたっては事業者が安心して事業を推進ために予算執行時期を含めた行政側のスピード感あるレスポンスを向上させる必要がある。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 1		

鳥取市市政改革プラン実施計画 二次評価結果一覧（令和5年度実績分）

【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

細施策 民間への情報提供及び事業参入の推進

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
11 デジタル 戦略課	122010 オープンデータの推進 (担当課自己評価：C)	1 妥当である 9	1●必要なことであり、妥当と判断。 2●課題の洗い出しが今後どの程度できるか。	●データを公開していることが市民に周知されているか疑問 ●「庁内保有データのリストアップ等に時間を要し」とあったが、それはどうしてか。人員不足要因か元々のデータ管理システム上の要因か。 ●市民に受け入れやすい環境と改善への取り組みは必須。 ●オープンデータを活用した新規ビジネスを創出するため庁内にプロジェクトチームをつくり、官民協働による事業発信の仕組みをつくるべき。また、見やすいホームページや市報の構成などを工夫し、誰もが情報を得やすい環境づくりを進めてほしい。 ●毎年1件も推奨形式での公開が出来ないのは、何か問題があるのでは？
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 0		
12 革新課 協働推進課 行財政改	122020 NPO・企業からの協働事業提案制度 の推進 (担当課自己評価：A)	1 妥当である 8	3●施策は納得だが、結果が見えない。 3●現状の体制では民間提案への柔軟な理解、意識の醸成は困難と感じる。協働事業を進めるためにはより丁寧な聞き取りとサポート体制の充実は欠かせない。	●次年度の目標はどのようになるのか。 ●提案実績の内容を知りたい。 ●5/12で提案実現との成果があったようだが、あとの7件は次年度以降で実現していく予定なのか。 ●わかりやすい結果が必要。 ●各団体と市長や執行部との定期的な意見交換と進捗や課題を明らかにする仕組みが必要。
		2 分からない 0		
		3 妥当でない 2		

鳥取市市政改革プラン実施計画 二次評価結果一覧（令和5年度実績分）

【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

柱2 時代の変化に即応できる組織体制の構築

施策 柔軟かつ適正な業務遂行のための職員力・組織力の向上

細施策 積極的な課題解決に挑む職員の育成

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
13 行財政改革課	211010 職員のコスト意識の醸成 （担当課自己評価：B）	1 妥当である 7	1●一定の成果があり、妥当と判断。 2●コスト意識を優先させるために市民に寄り添うサービスの提供が低下する懸念がある。 2●目的や必要性は伝わるが、具体性が見えない。声掛け運動によるパフォーマンスと見られかねない。 2●web研修なのに受講率が100%にならない理由が不明。	●予定されていた研修と意識調査の実施で「計画通り」とするだけでなく、アンケートでのコスト意識の向上を目標とすべきではないのか。 ●より効率的な運営を目指して頂きたい。 ●財政状況と職員の市民へに対する奉仕やサービス意識は別物のものであり、SQのあるまちづくりとの整合性をどうしていくか、もっと職員内で掘り下げた議論があって良いと考える。
		2 分からない 3		
		3 妥当でない 0		
14 デジタル戦略課	211020 職員のICTスキルアップ （担当課自己評価：B）	1 妥当である 8	2●個人差がありすぎるのではないかと？ 2●ICT化に向けたスキルアップは必要であるが、高齢者などICT活用が苦手な市民に対してチャットなどのよる回答システムが先行しては誰にも開かれた市役所は築けず本末転倒となりはしないか。	●予定されていた研修の実施で「計画通り」とするだけでなく、研修の成果としてどのような業務でICT活用が拡大したのかも成果指標にすべきと考える。 ●「デジタル職員育成方針」とはどういうものなのか知りたい。 ●職員ごとに意識レベルに差があり、全体的なレベルアップが必要。 ●ICT化を進めつつ、電話相談でもすぐにつながり直接声を聞くためのセッションはしっかり維持してほしい。 ●本人の意欲や習熟度格差により、ICTデバインドを助長し、本来スキルアップを期待する職員の底上げに繋がらないことも想定されるため、全職員の意識共有のための動機付け、仕掛けが必要。4
		2 分からない 2		
		3 妥当でない 0		
15 行財政改革課	211030 職員提案の充実 （担当課自己評価：C）	1 妥当である 7	3●実施を見送ったのであれば、D未着手ではないか。 2●一定数の職員しか提案が少ないように感じる。 2●提案する職員が少ないという点	●提案する職員に限られたり、提案が少ないのは制度の問題なのか、職員の意識・資質の問題なのかを検討すべき。 ●提案しやすい環境整備を民間での取組も反映しながら改善すべき。 ●職員のアイディアを事業化する議論が本当に必要。幹部職員への直接提案は本当に出来ているのか疑問であり、職員提案が市長マニフェストにどのように反映され、実行率がどの程度なのかを数値化してほしい。 ●今後どのように提案する職員を増やし、見直すことができるようになるか。 ●今年度は実施を見送ったとのことですが、提案したい人は出来なかったということですか？
		2 分からない 2		
		3 妥当でない 1		
16 職員課	211040 職員の自主的な活動支援 （担当課自己評価：C）	1 妥当である 10	1●自己啓発は重要であり、市の支援に期待。	●新たな検討課題とは何か。大幅な遅れをどのように取り戻すのか、中止するのか、しっかり判断されたい。 ●試行的な活動支援の内容が知りたい ●積極的な市の関与が重要。 ●仕事に関する自己啓発なので、業務時間中に行えるような研修として認めることもあっていいのでは。
		2 分からない 0		
		3 妥当でない 0		

鳥取市市政改革プラン実施計画 二次評価結果一覧（令和5年度実績分）

【担当課自己評価】 A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

細施策 誰もが働きやすく能力を発揮できる組織体制の構築

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
17 職員課	212010 フレックスタイム制度の導入 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 10	1●妥当と判断。	●さまざまな目的で制度が利用できるよう、柔軟な運用を期待したい。1日7時間45分でなくとも、週38時間45分でも良いのではないかと。 ●「利用する職員からの意見なども踏まえ、必要に応じて運用面に関する検討を行う」とあるが、どんな意見が挙がっているのか知りたい。 ●時代の流れとともに、働き方も変化していくべきと史料。
		2 分からない 0		
		3 妥当でない 0		
18 職員課	212020 女性活躍の推進 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 9	1●妥当と判断。 2●女性管理職の割合は低く、独自性のある女性活躍の市役所ということが伝わってこない。	●取り組み開始以後、女性の管理職登用はどれくらい増えているのかが、指標となるべきではないのか。 ●今後さらに期待。 ●特に防災対策など民間意見も採用してほしい。危機管理局の女性職員配置率がどうなのか知りたい。また、子育て支援については関連部署の女性管理職を充実させ、権限強化をはかり、きめ細かな対応をしてほしい。 ●育休を長く取得した女性も管理職になれる職場になってほしい。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 0		
19 職員課	212030 障がい者雇用率の拡大 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 8	1●妥当と判断。 2●法定雇用率は正規職員だけでも達成されなければ、制度の主旨に反するのではないかと。 2●視覚、聴覚障がい者の雇用実態がわからない。	●正規・非正規それぞれの2.6%の数値はどうなっているのか。 ●重要な事項であり、今後も拡充に期待。 ●視覚、聴覚障がい者が安心して働ける環境がどのようなか発信してほしい。
		2 分からない 2		
		3 妥当でない 0		
20 職員課	212040 メンタル休職者の削減、ハラスメント対策の徹底 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 7	3●R元年度78.1%が5年度でも87.6%では、当面100%には届かない。 1●妥当と判断。 2●「解決」に一切触れられていない。内部、外部窓口はあるが、相談を受けた後の、解決体制/ルールが不明であり、根源解消の抑止力として弱い。213040内部通報制度活用との連動/導線をしっかりお願いしたい。 2●実施計画名の中に「メンタル休職者の削減」とあるが、その結果が不明。	●昨年度も指摘したが、受検率が目標ではなく、高ストレス者の減少を目標とすべき。 ●「受験率の低い職場への声掛け」とあるが、どうして当該職場の受験率が低いのか原因は掴まれているか。 ●昨年度の報告書でも言及があったように記憶しているが、個別成果指標を「ストレスチェック回答率100%」とするのはナンセンスである。 ●当然のことであり、最重要テーマとも考える。 ●職員へのハラスメントは職場内部の他に市民や議会からなど多岐にわたることから、実態把握に努めて頂きたい。リワークしやすい職場のあり方について、市民にもわかりやすい説明が必要と思う。 ●行政であるがゆえの困難性（市民の声を聴く必要性）は理解するが、近年メンタル要因として課題感が大きくなっていると思われる。カスタマーハラスメント対策も必要。
		2 分からない 2		
		3 妥当でない 1		

鳥取市市政改革プラン実施計画 二次評価結果一覧（令和5年度実績分）

【担当課自己評価】 A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

細施策 内部統制機能の強化

		管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
21	総務課	213010	組織内統制プロセス及び体制の整備 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	9	2●どこまで緻密に取り組めているのか疑問。	●結果が市民に分かり難い。
				2 分からない	1		
				3 妥当でない	0		
22	総務課	213020	業務におけるリスクの洗い出し、課題の整理 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	7	2●やっている内容に判断が付きにくい。 2●膨大なチェック項目の前に想定されるリスク予測のあり方についての検討がどのような形でどこまで深掘りされているのかわからない。 2●目的や必要性は伝わるが、具体性が見えない。	●見えにくい部分であり、実際の活動に移すのは至難だと考える。 ●想定範囲をどこまで行うかの検討は必要と思うが、これまでのあらゆる「想定外」の洗い出しと対応マニュアルの検証がどのようになっているか公表が必要と考える。
				2 分からない	3		
				3 妥当でない	0		
23	職員課	213030	コンプライアンスの推進 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	9	2●個別成果指標に「研修参加者：全職階職員」とあり、令和5年度は新規採用職員と主任級職員対象の研修のみであったようで、局所的な実施であるように見える。計画期間残り1年で、他の全ての職階職員へ実施することは、「B：概ね計画通り」と言えるのか疑問（すでに令和4年度以前に、他の職階職員対象に実施しているのであれば別）。 1●妥当と判断。	●研修はもちろん必要だが、それだけでなく困難に直面した職員が法令違反を侵さなくて済むような、事前の対策も検討してみてはどうか。 ●積極的に取り組み出来ていると感じている。一部職員の不祥事がメディアで取り上げられたが、活動に問題はないと感じる。 ●コンプライアンスはハラスメントにも関係すると思うので、ハラスメント研修との連携も必要と考える。
				2 分からない	1		
				3 妥当でない	0		
24	職員課	213040	内部通報制度の活用 (担当課自己評価：B)	1 妥当である	7	2●現状が不透明で、判断つけにくい。 2●「是正」の内容が不明。解決体制/ルールが不明であり、自浄作用のための抑止力としての効果が不明瞭。 3●周知の具体的範囲が知りたいです。目標と進捗状況が漠然としていて評価が難しかったです。	●通報が少ない場合、通報しやすい仕組みになっているか検証しているのか ●全職員に徹底できているのか不明。 ●先般の兵庫県の事例を検証し、職員を守る制度の適切かつ責任ある活用に努めてほしい。
				2 分からない	2		
				3 妥当でない	1		

鳥取市市政改革プラン実施計画 二次評価結果一覧（令和5年度実績分）

【担当課自己評価】 A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

施策 働き方の見直しによる生産性の向上

細施策 時間外勤務の抑制に向けた取組の強化

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
25 職員課	221010 適切な労務管理による時間外削減 （担当課自己評価：B）	1 妥当である 10	1●妥当と判断。	●上司を通さないアンケート等で実情把握はしているのか ●働き方改革の意識も高まり、周知徹底出来ていると感じる。
		2 分からない 0		
		3 妥当でない 0		
26 職員課	221020 繁忙期の人的支援（横断的な応援体制の構築）による時間外削減 （担当課自己評価：B）	1 妥当である 8	1●妥当と判断。 3●コロナ感染対策など突発的な対処について臨時職員の採用をはかるなど、職員負担の軽減策がはかられていたのか疑問に思う。 2●応援に行くだけでなく、応援に行った人が本当に支援出来ているかが大切であり、そこがわからなかったです。	●マルチで仕事ができる人に業務が集中していないか心配 ●試行錯誤しながら、しっかり取り組んでいると感じる。 ●本来の職務に専念し、過度な負担が増さないよう事前のマニュアル化が必要。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 1		
27 職員課	221030 効率的に業務を遂行する職員への評価制度 （担当課自己評価：B）	1 妥当である 9	2●年功序列の様子が伺えて、疑問を感じる。	●特段の課題がなければ、計画を繰り上げて終了しても良いのではないかと。 ●民間の体制も参考に、年代に関係ない評価をしていただきたい。 ●若手職員とベテラン職員間で横断的に職員同士がサポートあい合える公開型の相談体制システムなど検討してはどうか。 ●効率性以外にも評価する観点はあるのか？ 無いのであれば、加味してはどうか。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 0		
28 デジタル戦略課	221040 ICTを活用した職員の早期帰宅推奨 （担当課自己評価：B）	1 妥当である 7	2●進捗度評価と担当課自己評価の説明にギャップがあるため分かりにくく、判断しかねる。 2●現状の結果が記載されていないので判断が難しい。 2●どこまで浸透しているか不明。	●ICTの活用により、効率化は当然であり、それが職員への意識も含めてどの程度浸透しているのか疑問。 ●早く出勤して仕事をして定時に帰る人がいないかも集計して欲しい。
		2 分からない 3		
		3 妥当でない 0		

鳥取市市政改革プラン実施計画 二次評価結果一覧（令和5年度実績分）

【担当課自己評価】 A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

細施策 事務の共通化・集約化による業務執行の推進

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
29 公文書管理室	222010 電子文書化の推進 (担当課自己評価：C)	1 妥当である 10	1●妥当と判断。 1●Bでもいいかとも思う	●電子決済だけでなく、紙資料全体の削減にも取り組まれない。 ●現状は紙と電子のハイブリッドでしょうか？よりコスト高のように感じる。強制的な移行は難しいのか ●より一層推進していただきたい。 ●電子文書化システムの推進計画は市民にも公表されているのか教えてほしい。 ●目に見えるコスト削減であると思う。
		2 分からない 0		
		3 妥当でない 0		
30 検査契約課	222020 物品購入、支払いの一括管理 (担当課自己評価：A)	1 妥当である 9	1●妥当と判断。 2●電子文書化を推進しているため、集約したことで購入量が減ったか不明。	●コピー紙だけでなく、文房具なども評価対象としてはどうか。 ●問題なく取り組んでいると感じる。 ●コピー用紙以外の事務用品なども可能な限り一括発注、一括管理がふさわしいと思う。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 0		
31 保健総務課	222030 駅南庁舎所属の消耗品の一括管理 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 10	1●妥当と判断。	●成果もはっきりしており、問題なし。 ●本庁舎の物品購入はコピー用紙に特化しているようだが、駅南庁舎は消耗品で一步進んでいるように思った。
		2 分からない 0		
		3 妥当でない 0		
32 デジタル戦略課	222040 共有フォルダの管理ルールの徹底 (担当課自己評価：C)	1 妥当である 9	1●妥当と判断。 2●ルールを見直すようになっているが、見直してしっかりと運用できるかどうか	●業務効率化にとって効果が期待できるので、速やかに実運用されたい。 ●弊社でも課題。良い方法が知りたい ●効率化推進の観点からもより一層進めてほしい。 ●運用できるならよいと思います。 ●業務の効率化に必要な決まりだと思えます。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 0		
33 総務課	222050 効率的な会議運営の推進 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 9	2●結果が不透明。	●ガイドラインの策定、改定に留まらず、ペーパーレス会議の割合を高める取り組みにも着手されたい。 ●この会議もPC持ち込みやタブレット貸し出しでペーパーレスにできるのでは？ ●判断材料に欠けており、成果が見えない。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 0		
34 デジタル戦略課	222060 電子会議等の推進 (担当課自己評価：A)	1 妥当である 7	1●妥当と判断。 2●電子会議の数が前年度から何回増えれば進捗状況としてAと評価できるのかが見えてこないです 3●参加者数述べは前年度を上回っているが、個別成果指標の延べ5千人には遠く及んでいないのではないか。 3●「実施計画の内容」における「効果額」が260万円とあり、「改革の成果」における「効果額」は79万円とある。それでも「A」としたのは妥当でないように思われる。	●これからは当然の話となってくるでしょう。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 2		

鳥取市市政改革プラン実施計画 二次評価結果一覧（令和5年度実績分）

【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

細施策 AI・RPA等の活用による業務の改革

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
35 デジタル戦略課	223010 AI・RPAの導入 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 6	2●計画の指標に50業務とあるが、その成果に到達していないと思ったので。 3●RPA利用業務数は前年度を上回っているが、個別成果指標の50業務には遠く及んでいないのではないかと。 3●改善の余地あり。 ●効果額が出るよう頑張ってください	●効果額実績がマイナス766万円。システム導入に伴う初期投資かと思われるが、目標280万を取り戻せそうか？ ●取組方が規模として小さく感じる。 ●AIへ作業を担わせる前段階でのチェックを確実に行わなければ結果として人為ミスを起こす可能性はないのか？ ●ご記載の通り、活用できる職員やフォロー体制が必要と考える。
		2 分からない 2		
		3 妥当でない 2		
36 デジタル戦略課	223020 モバイルワークの推進 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 9	2●結果が不透明。	●個別成果指標と進捗状況の成果の基準を統一されたい。 ●進捗Aでも良いくらいです ●部署による偏りが見られ、改善と普及が必要。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 0		
37 検査契約課	223030 電子入札・契約の促進 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 8	2●電子入札の本格導入で実施率が52%というのは、個別成果指標の目標570件と比べられない。 1●妥当と判断。 2●前年度までに促しても登録までこぎつけることのできなかった20%に、どう対策するのか気になります	●今後も改善しながら進めてもらいたい。
		2 分からない 2		
		3 妥当でない 0		
38 デジタル戦略課	223040 電子申請の推進 (担当課自己評価：A)	1 妥当である 9	1●妥当と判断。 2●電子申請の進捗を分野別で示されたい。	●利便性の向上が図られており、大変助かる部分が多いが、高齢者の方々への対応もお願いしたい。 ●公的施設使用の電子申請が充実していないとの意見が多くある。各公的施設のメールアドレスがホームページに記載されていない、もしくはわかりづらい。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 0		
39 デジタル戦略課	223050 仮想化技術の利用による端末の集約化の検討 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 8	3●成果が見えにくい。 2●市役所との情報交換の際に添付ファイルを開くパスワードの付け忘れが多い。	●検討はされていても、実際何をやっているのか不明。 ●容量が多いデータを市役所へ発信する際、ファイル便に変更して送信できない。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 1		

鳥取市市政改革プラン実施計画 二次評価結果一覧（令和5年度実績分）

【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

柱3 将来を見据えた持続可能な財政基盤の確立

施策 自主財源の確保と新たな財源の創出

細施策 税等の適正賦課及び収納率の向上

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
40 収納推進課	311010 債権の収納率向上 （担当課自己評価：A）	1 妥当である 8	2●取組方針に問題はないものの、成果がに不透明さが伺える。 1●目的や必要性、課題感は伝わるが、具体性が見えない。 2●住宅新築資金貸付金の大口回収案件が減少していることで徴収額が減少傾向にあることへの対策はできるのでしょうか	●困難な事象ではあるが、成果発揮に向け取り組んでいただきたい。 ●既に論議は尽くされていると思うが、マイナンバーなども活用した電子徴収などの強制力を持たせる仕組みの実証も必要では。 ●成果指標は回収率ではないんですね。徴収職員のメンタルヘルスへの取り組みもお願いします。
		2 分からない 2		
		3 妥当でない 0		
41 課 収納推進	311020 キャッシュレス決済の導入 （担当課自己評価：A）	1 妥当である 9	1●導入推進が加速しており、妥当と判断。 2●効果額が0なのが少し気になりました。	●このペースの維持を願います。 ●キャッシュレス決済は手数料が高いイメージですが、収納額と事務効率化のバランスは大丈夫でしょうか。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 0		
42 課 固定資産	311030 固定資産税（償却資産）の調査 （担当課自己評価：A）	1 妥当である 10	1●問題なく妥当と判断。	●人員不足に対する課題克服も早急をお願いします。
		2 分からない 0		
		3 妥当でない 0		
43 課 市民税課	311040 個人市・県民税に係る課税ベースの拡大 （担当課自己評価：C）	1 妥当である 9	2●市民に対する利便性に欠けている感がある。	●制度の複雑さも不透明さが見える要因ではないか。 ●大切な税收の問題であり、人員を増やしても目標を達成してほしいです。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 0		
44 課 市民税課	311050 法人市民税に係る課税ベースの拡大 （担当課自己評価：A）	1 妥当である 9	2●公平性がよくわからない。	●制度の変更が頻繁にあり、市民の理解度も低いいため、よりわかりやすい説明が必要。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 0		

細施策 受益者負担の適正化

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
45 改 革 財 政 課	312010 使用料・手数料の見直し （担当課自己評価：C）	1 妥当である 10	1●必要な事であり、取組も妥当と判断。	●R3年度で止まっている。理由の内部調整とは具体的に何か？ ●適宜見直しは当然必要と考える。
		2 分からない 0		
		3 妥当でない 0		
46 道 路 課	312020 道路占有料の見直し （担当課自己評価：B）	1 妥当である 10	1●取組自体、理解でき妥当と判断。	●独自ルールの確立は、困難であるも必要と認識。 ●土地価格減少傾向を見越しての改定と思うが、価格上昇時も想定した体系化が必要と考える。
		2 分からない 0		
		3 妥当でない 0		

鳥取市市政改革プラン実施計画 二次評価結果一覧（令和5年度実績分）

【担当課自己評価】 A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

細施策 市有財産の活用及び売却等の推進

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	コメント欄（妥当性の判断の理由など）	その他欄（気づいたこと・課題に感じたこと）
47 資産活用推進課	313010 貸付・売却可能な市有財産の公開と公売の推進 (担当課自己評価：A)	1 妥当である 10	1●妥当と判断。	●公用車3台の売却額が257万円とあるが、どのような状態の車を売却しているのか。 ●有効活用は重要であり、継続していただきたい。 ●市有財産の貸付、売却は現在の方法以外の検討は出来ないのか。 ●売却額が適正なのかはどかが判断されますか？
		2 分からない 0		
		3 妥当でない 0		
48 財産経営課	313020 多目的室等の貸室化 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 8	1●市民活動には大切であり、賛同できる取組である。 2●目標稼働率の30%貸の根拠が不明。貸出し業務のみなら、外部委託されては？ 2●今年度の時点で30%が計画通りということでしたが、目標とする稼働率が分からないので評価が難しかったです	●稼働率目標の上方修正も可能ではないか。 ●継続していくことを願います。 ●手弁当で運営し賃料負担にも困っておられる団体にも有効であり、地域活性化などへの間接的効果があると考えます。
		2 分からない 2		
		3 妥当でない 0		
49 教育総務課	313030 廃校の有効活用の検討 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 8	2●廃校の数が増えていく現状の中、取組推進には賛同できるも、成果が見にくい。 2●老朽化が激しい建物の維持管理が困難であるため活用が限定的となっている。活用策を広く求める場合、維持管理費等の負担軽減策は必要ではないか。	●この両校以外の状況はどうか。 ●他の貸付可能な廃校はあるか？ ●積極的な推進と、民間との連携も必要である。 ●民間力による質の高い建物活用策を進め、官民で自主財源確保への検討を行っていくことが出来ないか。
		2 分からない 2		
		3 妥当でない 0		
50 資産活用推進課	313040 公共施設マネジメント民間提案制度の推進 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 9	1●妥当と判断。 3●公共施設の管理が現状所管のままであることから新たな活用策が生まれていないのではないか。	●取り組みが有効に機能していないように思われる。必要な改善策も検討されたい。 ●民間との連携は必須。 ●例) 国府町「万葉の館」（旧食文化発信施設）は農林水産部所管であり老朽化を放置したまま地域活性化や財源策が検討されていない。所管換えを行い新たな活用策を進めていくべきではないか。
		2 分からない 0		
		3 妥当でない 1		

鳥取市市政改革プラン実施計画 二次評価結果一覧（令和5年度実績分）

【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

細施策 新たな財源の創出

		管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
51	生涯学習・スポーツ課	314010	発行物、市有財産への広告掲載（成人式案内通知） （担当課自己評価：B）	1 妥当である	5	2●当課で募集したとあるが、どういう方法で企業を募集したのか不明。 3●効果額150万円に対し1万円。民間とのイベント運営の実施表記もなく、Cでは？ 3●「実施計画の内容」における「効果額」が150万円とあり、「改革の成果」における「効果額」は1万円とある。それでも「B」としたのは妥当でないように思われる。 3●方針に賛同はできるが、進捗状況が鈍く感じる。 3●魅力ある成人式となっていない。検討課題にあるように運営方を全面的に見直すことが妥当かと思う。「民間と協働しての開催」のイメージが伝わってこない。	●成人式の案内はがきのスポンサー募集や、成人式のあり方検討だけの計画では不十分。計画的に取り組むような内容ではないのでは。 ●成人式そのものの運営方法を抜本的に見直すべきではないか。 ●開催単位の見直しとともに地域が関わる成人式のあり方を検討してはどうか。 ●難しい案件であり、継続した活動を望む。
				2 分からない	1		
				3 妥当でない	4		
52	戦略課	314011	発行物、市有財産への広告掲載（庁内パソコン） （担当課自己評価：A）	1 妥当である	9	2●賛同できるも、進捗が不透明。	●市政改革の取り組みとして位置づけられるものなのか疑問である。 ●市民に対して、目に見える成果をどう表現するのが難しい。
				2 分からない	1		
				3 妥当でない	0		
53	資産活用推進課	314020	ネーミングライツの推進 （担当課自己評価：C）	1 妥当である	8	1●成果が感じられ、妥当と判断。 2●施設の老朽化は計画当初からわかっており、それが計画の遅れの原因にはならないと考える。 3●何もできていないのなら、未着手ではないのか。	●他の施設候補はどこか。 ●見通しに甘さがあったように感じる。 ●今後も積極的な推進に期待。
				2 分からない	1		
				3 妥当でない	1		
54	資産活用推進課	314030	全庁的な広告事業の推進 （担当課自己評価：C）	1 妥当である	9	1●市民にも目で見えており、妥当と判断。 2●民間事業者からの広告収入の確保を継続しつつ市役所としてメディア掲載等による広告収入策が検討されていないように思う。	●管理番号314010-30の4件は一体的に取り組まれるべきで、次期計画では改善されたい。 ●RFIの結果はどうだったのか。何で止まっているのか。 ●より一層の推進に期待。 ●「すごい鳥取！」のコピーは良かった。市役所としてインフルエンサーを輩出するくらいのスキルを磨いてほしい。
				2 分からない	1		
				3 妥当でない	0		
55	行財政改革課	314040	クラウドファンディング活用の推進 （担当課自己評価：A）	1 妥当である	9	1●妥当と判断。 2●自治体クラウドファンディングの活用について専門的な知見が活かされていない。	●314040～314060は類似のしくみであり、素人目には違いがわかりづらい。規模として最も大きいのは「ふるさと納税」のようであるが、その分経費もかかっているようである。これら3つをさらに効率的に調達・活用できるように、そして、市民にもその成果をわかりやすく発信いただきたい。 ●積極的活動が見られる。 ●佐賀県などの成功事例を参考にしてほしい。
				2 分からない	1		
				3 妥当でない	0		
56	資産活用推進課	314050	ふるさと納税の推進 （担当課自己評価：B）	1 妥当である	10	1●妥当と判断。	●年々納税者数が増加しており、今後も有効活用に期待。
				2 分からない	0		
				3 妥当でない	0		
57	資産活用推進課	314060	企業版ふるさと納税の推進 （担当課自己評価：A）	1 妥当である	10	1●課題は多いが、妥当と判断。	●積極的なPR活動も進められていて、今後にも期待。 ●企業は、メリットは求めるが、同時に、（社内/社外への）大義があれば寄付するので、大義ある対象事業づくり/選定が重要と考える。
				2 分からない	0		
				3 妥当でない	0		
58	出納室	314070	効率的な公金の運用 （担当課自己評価：B）	1 妥当である	9	2●成果が不透明。	●現状もよくわからず、成果もはっきりしていない。 ●運用は民間の委託/助言を入れているのか。入れていなければ、それは法律などで出来ない仕組みか。
				2 分からない	1		
				3 妥当でない	0		

鳥取市市政改革プラン実施計画 二次評価結果一覧（令和5年度実績分）

【担当課自己評価】 A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

施策 公有財産の整理合理化と適正な財政運営の推進

細施策 戦略的な予算配分の推進

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
59 行財政改革課	321010 補助金適正化の推進 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 6	1●取組内容に問題なし。 2●選択と集中の、特に「集中」の考え方が不明。「効果の高い」とは何を意味するのか。 2●補助メニュー一覧を公開したことは当たり前のことで、分かりやすくなったかは補助金申請時にアンケートとして調査してみてもいい？ 3●経済が低迷している中で適切な補助金活用で新分野の事業推進が可能と思うが、市民や企業に対する補助金メニューや活用策についての発信力が乏しい。 3●あとはどのようにして知ってもらえるかを考えてほしいと思います	●周知徹底をわかりやすくすれば、より一層改善されると感じている。 ●補助金申請後の事業成功に向けた寄り添うアドバイスがないように思う。また、補助金活用が年度当初に間に合う適正なスケジュール感になっていないことなど、見なすべき内容は多いと感じる。 ●わかりやすい補助メニュー一覧かどうかの判断を誰がしたのか不明。
		2 分からない 2		
		3 妥当でない 2		
60 行財政改革課	321020 投資効果を踏まえた事前評価制度の構築 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 7	3●事前評価制度自体必要なのか疑問。 3●事業の選択と集中が出来ていないことは現場の声が届いていないということに尽きる。選択後の事業実施に向けたスピード感に欠ける。 2●現在、どの様なルール、運用がなされているかが不明。記載内容は、既に実施されていても良い様な、至極当然の内容に思われる。	●事前評価に時間がかかりすぎているように感じる。 ●事業評価がマンネリとなっており、制度疲労を起こしている事業が継続されているなど、スクラップアンドビルドが適切に行われているは疑問に思う。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 2		

細施策 公共施設再配置の推進

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
61 資産活用推進課	322010 再配置基本計画に沿った施設のあり方検討の推進 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 9	1●妥当と判断。 3●313040に見られるような施設管理が現実に行われており、目的と効果が不明瞭な案件がある。	●早急な対応を希望。 ●特に中山間地において、「建物が無くともサービス提供は可能」とする成功例をどのようにつくっていくのかを具体的に示してほしい。
		2 分からない 0		
		3 妥当でない 1		
62 資産活用推進課	322020 施設の複合化や集約化の推進 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 9	2●単年度計画の進捗状況は「322010再配置基本計画に沿った施設のあり方検討の推進」を参照とあるだけで、判断できない。 1●必要なことであり、妥当と判断。	●来年度までに、個別成果指標にある5件に到達できるのか。 ●より一層の活動に期待。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 0		
63 教育総務課	322030 校区再編の推進 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 7	2●時間を要する事案であり、判断し難い。 2●地域意見が力をもっているために再編できないケースもある。 3●個別成果指標の43校区中、16校区では計画通りとは言えないのではないか。	●必要な事であるので、早急に改善必要。 ●企業誘致などにより住宅地が造成され、当初より児童生徒数のシミュレーションが変化した校区もある。 ●20年後を見据えた～とあるが、旧市内の校区の再編成も必要なのでは。
		2 分からない 2		
		3 妥当でない 1		

鳥取市市政改革プラン実施計画 二次評価結果一覧（令和5年度実績分）

【担当課自己評価】 A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

細施策 新たな事務経費削減手法の展開

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
64 出納室	323010 庁内備品の共同利用 (担当課自己評価：C)	1 妥当である 10	1●妥当と判断。	●単に遅れているのではなく、かなり大幅に遅れており、理由の説明を求めたい。 ●台帳の整理ができていない理由は ●積極的な取り組みも評価できる。
		2 分からない 0		
		3 妥当でない 0		
65 教育総務課	323020 学校施設維持管理の効率化 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 8	1●妥当と判断。 3●ハード・ソフト両面において現状の学校施設は防災機能が満たされていないのではないかと。 2●進捗状況を見る限りはAでもおかしくないなと思いましたがかなり余裕をもって計画していたということでしょうか	●取組内容に問題なし。 ●自然災害が頻発する中で防災拠点としての機能は欠かせない。屋上太陽光パネルの設置や体育館の空調管理、災害備蓄品保管スペースなど、地域と学校施設の活用策の検討は必要。 ●効率化した部分を、例えば、ユニバーサル対応/多様性対応などへ振り向ける事も重要であり、選択と集中という観点を入れてはどうか。
		2 分からない 1		
		3 妥当でない 1		
66 デジタル戦略課	323030 システムの共同利用の推進 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 7	2●市民目線でわかりづらい。 2●計画の指標には21.8%とあるが、成果欄にはなしとあり、なして計画通りなのか不明。	●工程表の記載が大まかすぎるので、より具体的な記述を心がけてほしい。 ●不透明さを払拭すべく改善が必要。
		2 分からない 3		
		3 妥当でない 0		

細施策 将来を見据えた計画的な財政運営の推進

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性	妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
67 行財政改革課	324010 市債発行の抑制と計画的な公共事業の推進 (担当課自己評価：B)	1 妥当である 8	1●妥当と判断。 2●工程表と単年度計画の記述が対応していないので、判断し兼ねる。 2●効果額の差が大きく、計画通りなのか不明。	●毎年同じ作業の繰り返しで改善が不要なら、計画化する必要はないのではないかと。 ●計画的に進められていて、問題なく感じる。
		2 分からない 2		
		3 妥当でない 0		
68 行財政改革課	324020 中長期財政計画の策定と公表 (担当課自己評価：C)	1 妥当である 8	1●公表に至らなかった理由を明記されたい。 1●ビジョンが近年わかりやすくなってきており、妥当と判断。 2●目的や必要性は伝わりますが、具体性が見えない。 2●公表は大切なことなのに、なぜ公表に至らなかったのか不明のため判断できない。	●毎年同じ作業の繰り返しで改善が不要なら、計画化する必要はないのではないかと。 ●メディアの有効活用も必須。
		2 分からない 2		
		3 妥当でない 0		

鳥取市市政改革プラン実施計画 二次評価結果一覧（令和5年度実績分）

【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

細施策 将来を見据えた計画的な財政運営の推進

69	出納室	324030	一時借入金金利の軽減 (担当課自己評価：A)	1 妥当である	8	1●妥当と判断。 2●利息の支払い額を抑えることが出来たのは、担当課の成果といえるのか。当初予算の設定次第ではないのか。	●毎年同じ作業の繰り返しで改善が不要なら、計画化する必要はないのではないかと。 ●計画的に進められており、問題なし。
				2 分からない	2		
				3 妥当でない	0		
70	行財政改革課	324040	外郭団体の経営健全化（全体方針） (担当課自己評価：C)	1 妥当である	8	2●取組状況がわかりづらい。 2●特に早急に経営の健全化を進めるのではなく、ヒアリングに特化しているのか、何が計画より遅れているのか不明。	●21団体の経営改善計画策定を来年度中に完遂できるよう、最大限努力されたい。 ●なぜここまで遅れているのか、理由が知りたい。 ●方針に問題はないが、目に見える成果とはかけ離れている。
				2 分からない	2		
				3 妥当でない	0		
71	資産活用推進課	324041	外郭団体の経営健全化（土地開発公社） (担当課自己評価：C)	1 妥当である	9	3●進捗状況が遅く感じる。	●個別成果指標と取組実績が一致していないので、件数ではなく面積と資産額で示す必要がある。 ●活動内容は賛同できるが、成果が表れていない。
				2 分からない	0		
				3 妥当でない	1		
72	市立病院	324050	公営企業の経営健全化（市立病院） (担当課自己評価：B)	1 妥当である	8	2●単年度計画、進捗状況と、担当課の自己評価の記載が対応していないので、なぜ計画通りといえるのか分からない。 2●改善するがゆえに、不便さを感じる。	●医師不足もささやかれ、課題が多い。
				2 分からない	2		
				3 妥当でない	0		
73	水道局	324051	公営企業の経営健全化（水道局） (担当課自己評価：B)	1 妥当である	10	1●問題なく、妥当と判断。	●しっかり運営されており、今後にも期待。 ●デジタル化（老朽箇所発見、スマートメーター化など）によるコスト低減、効率化と、その削減分を専門性向上のために充てるなどの取り組みも必要と考える。
				2 分からない	0		
				3 妥当でない	0		

（全体を通して何かご意見・ご感想があればご記入ください）

- ・5年間の計画期間の4年目であるのに、個別成果指標に大きく届かない状況で計画通りとしている取り組みが多く、驚いた。
- ・個別成果指標に掲げた目標を達成できなかった場合の責任や、反省はどのようにされるのか。努力を評価するのではなく、成果をしっかり評価しなければいけない。
- ・評価シートのフォーマットにおいて、「進捗度評価」（AやB等で記入されるもの）の過去の実績も参考情報として記載されている欄があると、経年変化を追うことができる。そうすることで、例えば、「C」が複数年継続しているようであれば、大きな見直しなどを考えるべく、こちらも何か提言などできるかもしれない。
- ・私たちが評価して、担当課もそれを受けて意義ある次の取組へとつながるようになるために、当たり前のどこの自治体でもやっている通常業務的な計画の評価は不要であるように思える（内部の極めて事務的な取組（駅南庁舎所属の消耗品の一括管理、共有フォルダの管理ルールの徹底、庁内備品の共同利用等）や税金収納関係（債権の収納率向上、固定資産税（償却資産）の調査等）など）。
- ・市民目線での評価するにあたり、参考となる指標が少なすぎるように感じる。取組内容及び活動自体に問題はなく、市政をより良くするため一生懸命に活動されている事も評価できる。しかしながら、目に見える形や成果で判断するのが大半の市民である。今後はメディアやSNSなどの発信を多投し、より多くの市民への関心を掴んでいく必要があると感じている。
- ・定性的な効果は分かるが、数字、KPIなどによる定量的な効果シミュレーションの提示が欲しい。
- ・計画より遅れているものもあるが、どうしても仕方のない部分があると思います。全体的には進捗はいいと思います。